「市長のタウンミーティング」における主なご意見

NO	
1	中学校給食は残食率や提供温度に課題があるため、献立等を改善するとともに、温かい食缶方式、給食センター方式、完全給食への転換を検討してほしい。
2	学校の老朽化したトイレは、子どもが利用を我慢することがないよう、洋式化や衛生環境の改善を計画的に進めてほしい。
3	教育、公共施設、公園など子どもに関係する施策では、子どもを一人の市民として尊重し、その意見を市政へ反映してほしい。
4	学校復帰だけを目標とせず、地域の小さな居場所やオンライン学習など多様な社会との接点を整え、不登校・ひきこもりの長期化や孤立を防いでほしい。
5	ギフテッドなど特別な才能や発達特性を持つ子どもが、その能力や個性を伸ばせる居場所と学習機会を充実してほしい。
6	市内の東西を越えて、子どもが落合川や湧水等の地域資源を学ぶ機会を設け、地域への理解と郷土愛を育んでほしい。
7	駅前整備等よりも、中学校給食の改善や子育て支援など、現在暮らす市民の生活に直結する施策を優先してほしい。
8	身寄りのない単身高齢者が、急病、見守り、終活、死後手続き等を安心して相談できる「おひとりさま支援センター」等の窓口を設けてほしい。
9	高齢者のフレイル・認知症予防に体感型eスポーツを取り入れ、高校の部活動等とも連携して、楽しく続けられる健康づくりを進めてほしい。
10	NPO法人「結」の移送サービス終了後も通院等に支障が出ないよう、市が主導して安価で確実な福祉車両と運転者を確保してほしい。
11	重度障害者が就労中にも必要な介護を受けられるよう、「重度障害者等就労支援特別事業」を導入してほしい。
12	車いす利用者、高齢者、ベビーカー等が安全に移動できるよう、歩道と車道の危険な段差を改修時に解消してほしい。
13	公共施設の再編・縮減は、稼働率や財政面だけで判断せず、市民や専門家との対話を重ね、地域への影響を踏まえて慎重に進めてほしい。
14	厳しい財政状況を分かりやすく伝え、公共施設の縮減や施策の優先順位など、痛みを伴う改革を市民と共に考えてほしい。
15	連絡所の廃止では、高齢者や障害者等を取り残さないよう、証明書配送、臨時窓口、対面支援等の代替策を充実してほしい。
16	行政DXは単なる電子化ではなく、使いやすい画面や仕組みを重視し、デジタル利用が難しい人への対面支援も維持してほしい。
17	遺跡や歴史資源にAR、VR、位置情報等を活用し、市民や来訪者が街歩きをしながら地域の歴史を学べる仕組みを整えてほしい。
18	新たに転入した現役世代など、多様な専門性を持つ市民が、学校、防災、地域活動等で能力を発揮できる仕組みを整えてほしい。

19	アンケートや意見募集で寄せられた声について、市の考え方、検討状況、実施結果を分かりやすく市民へ伝えてほしい。
20	公共施設を更新・改修する際は、空調設備の設置だけでなく、断熱化や省エネ化を一体的に進めてほしい。
21	旧学校施設や健康施設等を地域住民との対話により再編・有効活用し、滝山地区等の地域全体の活性化につなげてほしい。
22	健康づくりや行政の無駄・改善点の提案など、市民一人ひとりが歳出削減や市政改善に貢献できる方法を示してほしい。
23	行政サービスの拡大だけに頼らず、市民、商店街、企業が主体となってイベントやにぎわいを生み出すまちづくりを進めてほしい。
24	自主防災組織の結成・認定要件を見直すとともに、防災用品購入への補助や物資提供を充実し、市民が活動しやすい制度にしてほしい。
25	都市計画道路は、通学路や防災上の必要性と、自然破壊、通過交通、生活環境への影響を総合的に検証して進めてほしい。
26	猛暑時にも子どもが安全に遊べるよう、都立六仙公園等にじゃぶじゃぶ池や水遊び場を整備してほしい。
27	生ごみの堆肥化、有機農業、学校での野菜づくりを組み合わせ、ごみ減量、資源循環、食育、環境教育を一体的に進めてほしい。
28	旧保育園跡地や国家公務員宿舎跡地等について、防犯上の課題を解消し、公園等を含む有効活用の方針を示してほしい。
29	路線バス廃止地域等の移動手段を確保するため、デマンド交通の利用条件や乗降場所を改善し、コミュニティバスも含めて検討してほしい。
30	東久留米駅東口で民間送迎バス等が安全に乗降できるよう整理し、市政情報を伝える掲示板や案内表示も改善してほしい。
31	多摩六都5市が重要課題を定めて連携を強化し、北多摩北部地域への東京都の施策や支援を共同で働きかけてほしい。
32	落合川、黒目川、竹林公園等を活用し、レンタサイクル、案内マップ、西武鉄道との連携等で来訪者と市内消費を増やしてほしい。
33	川沿いの自然環境を守りながら、用途地域等を見直し、散策途中に立ち寄れるカフェや店舗を誘致してほしい。
34	富士見テラス、柳久保小麦、遺跡、滝山団地等の地域資源を結び付け、市内外へ効果的に発信してほしい。
35	市内企業の釣り具やゴルフ用品等について、地場産品基準を踏まえた返礼品の開発・発信を強化し、寄附収入を増やしてほしい。
36	手塚治虫氏の旧邸宅周辺について、公園や子育て支援機能と連携し、文化資源を生かした地域拠点として整備してほしい。
37	高校・大学の誘致や市内教育機関との連携について、昼間人口、地域活性化、人材交流、税収面等を踏まえて検討してほしい。

38	平和都市宣言を踏まえ、地域の戦争体験や平和の大切さを若い世代へ伝える展示・事業を継続し、市民の平和活動にも理解を示してほしい。
39	人口減少や施設老朽化に対応し、将来世代の負担を抑えながら、子育て世代や若者に選ばれる持続可能なまちを目指してほしい。
40	給食、公園、公共施設再編等について、市長が任期中に実現したい政策と将来像を、市民に分かりやすく示してほしい。
41	道の駅構想について、地域経済への効果や既存資源との関係を示し、市民との対話を通じて必要性と実現可能性を検証してほしい。
42	物価高対策や地域消費の促進に役立つキャッシュレス決済ポイント還元事業について、財源を確保し、継続を検討してほしい。
43	火葬場不足について、市単独での新設だけでなく、周辺自治体や関係機関と連携した広域的な対応を検討してほしい。